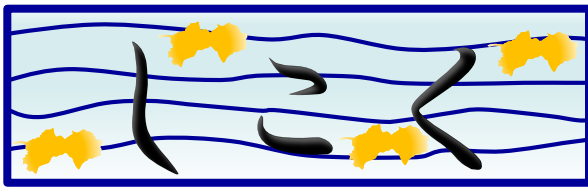


主な記事

第14旅団創隊15周年及び  
善通寺駐屯地開設71周年記念行事 (1面)

1



令和3年(2021年)11・12月 第170号

旅団長統率方針「任務必成」  
旅団長要望事項「プロであれ」



陸上自衛隊第14旅団広報紙  
発行所：第14旅団司令部総務課広報班  
住所：香川県善通寺市南町2丁目1-1  
電話：0877-62-2311 (内2256・2257)  
メールアドレス：pr-14b-ma@inet.gsdf.mod.go.jp

# 第14旅団創隊15周年記念行事 善通寺駐屯地開設71周年記念行事



**プロフェッショナリズムを磨き  
国民から信頼される旅団、駐屯地**

記念式典全景

第14旅団(旅団長 遠藤 充陸将補)及び善通寺駐屯地(駐屯地司令 下本昭司 1等陸佐)は、11月21日、善通寺駐屯地(香川県)において「第14旅団創隊15周年及び善通寺駐屯地開設71周年記念行事」を挙げた。

本行事は、新型コロナウイルス感染症のため、2年ぶりの開催となった。本来であれば、駐屯地を一般開放して地域住民等の方々に自衛隊の活動に対する理解と信頼を深めて頂いていたが、新型コロナウイルス感染症対策に最大限考慮し、一般開放を中止し大幅に規模を縮小して行った。当日は天候にも恵まれ、地元、善通寺市長をはじめ、各地方自治体、各協力団体の会長等の臨席を賜った。

観閲式には、下本副旅団長以下隊員約800名が参加、式典において遠藤旅団長は、「第14旅団は、平時にあつては、我々の高い任務遂行能力が抑止力の一部となつて、

戦争の災禍から国民の皆様を遠ざけることができるよう訓練に励み、有事には、四国四県をはじめ全国各地の事態に即時に駆けつけ、与えられた任務を必ず達成できるように、プロフェッショナルリズムを磨き、国民の皆様から信頼される旅団、駐屯地として、今後益々努力して参る所存であります。」と述べた。

観閲式終了後、グラウンドにおいて第14音楽隊による音楽演奏、その後、装備品展示を実施し、記念行事を終了した。



巡閲



装備品展示



第14音楽隊による音楽演奏



遠藤旅団長による式辞



# 「連隊野営訓練」 第50普通科連隊 検閲を実施



朝靄の中での編成完結式

## 部隊のさらなる練度向上へ！

第50普通科連隊（連隊長 溝口光章1等陸佐）は、日本原演習場（岡山県）において、11月上旬及び11月下旬から12月上旬までの間、連隊野営訓練（検閲）を実施した。

本訓練検閲を実施するにあたり、検閲官である連隊長は、「現地の状況に応じて見積・計画を修正し、行動せよ。」「基本・基礎の確行」「安全管理・健康管理の徹底」を受閲部隊に要望し、状況を開始した。

訓練検閲においては、パトラ（交戦訓練用装置二型）を使用し、より実践に近い環境下で訓練検閲を行



小型ショベルドーザーで 掩体を構築する隊員

い、現時点の練度を評価した。各中隊は、本訓練検閲で得た成果・教訓を今後の訓練の練度向上を図っていく所存である。



陣地地域の安全化を図る隊員



命令下達を行う中隊長（写真：右2番目）



障害（鉄条網）を構築する隊員

# 第15即応機動連隊

## 自衛隊活動の理解と信頼感を醸成 多度津高校防災教育支援を実施



衛生科隊員による救急法の展示説明



装備品展示

第15即応機動連隊（連隊長 福井謙1等陸佐）は、11月5日、香川県立多度津高等学校で実施された防災教育において、高機動車、

救急車及び偵察用オートバイ等の車両や人命救助セット等の展示及び災害時における各装備の用途について説明を行うとともに、衛生科隊員による応急救護器材等の展示及び応急処置（心肺蘇生）等実演を含めた説明を約240名の学生等に対し実施した。

参加者は、隊員の実演を熱心に見学し、高機動車等の車両にも興味深く見学を実施していた。

今回の防災教育支援を通じて、教職員、学生及び町内自治会の方々に対し、防災意識の高揚及び自衛隊に関する理解と信頼感の醸成を図るとともに、今後の進路選択肢の一つとして自衛隊の認知度の向上に努めることができた。

# 中部方面特科隊

## より実践的な防災訓練を実施 松山市総合防災訓練に参加

中部方面特科隊（隊長 科部真之介1等陸佐）は、11月3日、松山市立みどり小学校において、松山市が主催する総合防災訓練に参加した。

本訓練には、地域住民及び各機関等から人員約900名、中部方面特科隊から隊員12名が参加し、より実践的な防災訓練を実施した。

訓練内容は、蓋然性の高い南海トラフを震源とした巨大地震の発生を想定し、災害対策基本法及び松山市地域防災計画に基づき、住民輸送訓練及び負傷者の救出・救護訓練を実施した。

特に、人命救助システムによる倒壊家屋からの負傷者の救出・救護訓練において、素早く負傷者を救助する姿は見学者の目を引きつけた。

本訓練の様子は、テレビ等で愛媛県内全域に放送され、中部方面特科隊員の活躍する姿が広く広報された。



消防と連携した 要救助者救出



倒壊家屋内での要救助者の 搬送準備



家屋の解体



警察・消防との現地調整



# 「持続走競技会及びソフトゴルフ大会」実施

## 第14後方支援隊



タスキをつなげる吉元隊長

第14後方支援隊（隊長 吉元雄一、1等陸佐）は、11月8日から12日までの間、善通寺駐屯地において自衛官として必要な体力の維持・向上、健康の増進、部隊の士気の高揚及び団結の強化を目的に「令和3年度第2回持続走競技会及びソフトゴルフ大会」を実施した。

8日から11日までの間、個人走（3000m）、12日にソフトゴルフ大会及びビリレーマラソンを行った。競技会の実施にあたり、隊長から「全力で楽しめ」との要望事項があり、隊員はその言葉を胸に、一人一人が全力で各競技に臨んだ。結果、持続走競技会は、個人走及びビリレーマラソンの総合成績で、即応機動直接支援中隊が優勝、ソフトゴルフ大会は、輸送隊が優勝し幕を閉じた。

持続走競技会においては、各人が日頃の体力錬成の成果を発揮するとともに、中隊等のプライドをかけて目の前の勝負に死力を尽くすことにより、戦闘員として必要な闘争心を涵養させた。

また、ソフトゴルフ大会は全員参加で和気あいあいとした雰囲気の中で行われ、中隊等の士気の高揚及び団結の強化につなげることができた。

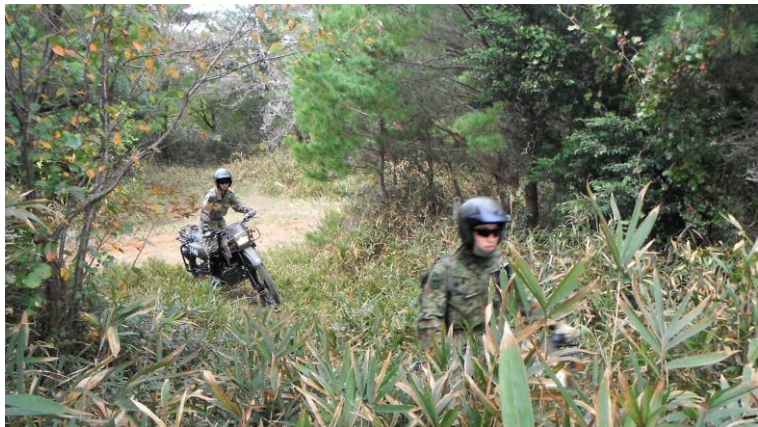


ソフトゴルフ大会全景

教習所での技能教習



不整地操縦訓練



一般道操縦訓練



練度判定(アクセルターン)



## 第14偵察隊

# 部隊の新たな力を育成

## 自動二輪装輪操縦集合教育を実施

第14偵察隊（隊長 今村正文、2等陸佐）は、10月11日から11月12日までの間、琴平自動車教習所、大池訓練場、国分台演習場及び香川県から高知県の一般道において「令和3年度自動二輪装輪操縦集合教育」を実施した。

本教育は、前段と後段に区分して行い、教育隊長を澤島宗真1等陸尉が担任した。参加者は、第14偵察隊から8名、第15即応機動連隊から3名、第14後方支援隊から1名の隊員が参加した。

前段は、10月11日から29日までの間、琴平自動車教習所において自動二輪免許取得のため、学科教育及び技能教習を受けた。教官（大力智3等陸尉）の情熱ある日々の厳しい指導により、無事全員が免許を取得することができた。

後段は、11月1日から10日までの間、大池訓練場、国分台演習場及び一般道（香川県）において、基本操縦及び応用操縦の特技練成を実施した。

10日、大池訓練場において不整地及び錯雑地などの各種地形における操縦要領を練成し、8日には、善通寺（香川県）から高知県の一般道における操縦訓練を実施した。

本教育の集大成である練度判定を実施した。低速走行、スラローム及びアクセルターン等の基本的な項目を実施させ前日の大雨により路面状態は不良であったが、錬成の成果を如何なく発揮し、全員が応用操縦技術の基礎を修得することが出来た。



# 「駐屯地開設9周年記念行事」 第14施設隊



親閲行進

第14施設隊(隊長 澤水隆一 2等陸曹 陸佐)は、11月28日、徳島駐屯地に於いて駐屯地開設9周年記念行事を実施した。

記念式典には、徳島県知事代理、策監瀬尾氏、阿南市長表原氏をはじめ、各自治体、関係機関及び協力団体等内外から多数のご来賓を招待した。

親閲官である徳島駐屯地司令兼第14施設隊長は、式辞において、国土防衛を主たる任務とし、南海



模擬戦闘訓練



装備品展示

トラフ地震をはじめとした自然災害にも即応できるよう引き続き、日々訓練に邁進していく」と述べた。

式典後は、第14音楽隊による音楽演奏、模擬戦闘訓練展示及び施設器材等の装備品展示も実施し、盛会のうちに行事終了した。

# 隊員紹介

# 第14飛行隊

## 射撃教官として部隊を導く 小火器射撃検定を実施

第14飛行隊(隊長 高橋慎一郎 2等陸佐)は、11月9日、小野射場(愛媛県)において、射撃の練度を評価・判定するとともに、その進歩向上を目的に令和3年度第2回小火器射撃検定を実施した。



第14飛行隊 2曹陸曹 中川隆文

第14飛行隊で訓練陸曹兼射撃教官をしている中川隆文2等陸曹です。

今回の射撃検定は、来年1月下旬に予定されている旅団射撃競技会に向けた練習

成及び選手の選考も含めた、極めて重要な訓練です。

私は、今年度から初めての部隊の訓練陸曹として隊員の射撃訓練に関する指導等を実施していますが、射撃競技会が近づくにつれ普段の射撃予習以上に熱も入り、緊張感をもって実施している事を実感しました。

新しく配属された隊員を含め、誰が選手に当たっても戦力が発揮できるような確に指導していくのはもちろんの事、技術だけでなく安全管理面においても指導を徹底し、特に銃口管理について意識するように厳しく指導しています。また、銃口を意識することで、その後の射撃姿勢に影響を与えらると思われず。

私は、目標である射撃競技会優勝が達成できるよ



う、効率かつ効果的な射撃予習方法を積極的に考案し、部隊に貢献できるとともに、精進していきたいと思っています。

安全点検を確実にを行う勤務員



射撃検定

# 元気いっぱい フレッシュな新隊員が着隊

# 第14通信隊

第14通信隊(隊長 西山基2等陸佐)は、フレッシュな新隊員が着隊した。

システム運営、無線電ネットワーク運用、修了した新隊員14名を、今年度から通信科は、新特におり、将来の新領域への対応を最前線で行うに要員となる。新対し、早期戦力化のため、新着任者教育を実施した。

本教育では部隊の任務、部隊勤務の重要性を即座に理解させ、徹底した底力養成を図る。また、旅団演習の素性を教育し、部隊の素性を高め、旅団演習に貢献するべく、毎日奮闘している。

12月4日、新隊員を主体とした家族会を実施し、隊員家族への安心感を付与する。また、自衛隊に対する理解を深めた。

新隊員は、新進気鋭の若者たちとともに日々任務に邁進している。



戦闘射撃シミュレータを使用した射撃予習



初動派遣車両について説明を受ける新隊員



熱心に教育の要点を書き留める新隊員



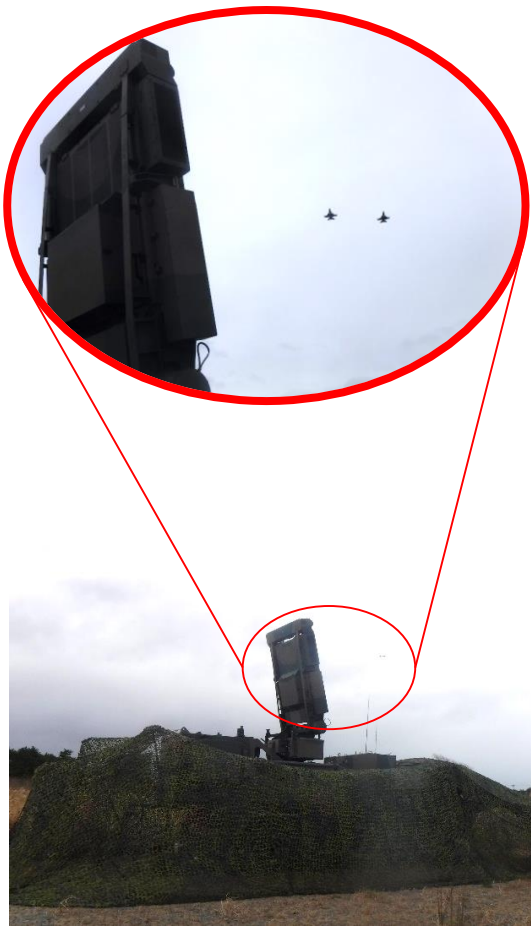
# 実機により実戦のための訓練を実施

## 第14高射特科隊

### 自衛隊統合演習(総合ミサイル防空訓練)に参加

第14高射特科隊(隊長 富高英和2等陸佐)は、11月16日から12月2日までの間、四日目訓練場(青森県)において令和3年度自衛隊統合演習(総合ミサイル防空訓練)に参加した。本演習は、自衛隊の統合運用について演練し、領域横断作戦を含む統合運用能力の維持・向上を図り、我が国の防衛に係る堅固な意思を示すために実施された。隊は、陸海空自衛隊各部隊間の総合ミサイル防空の実行性、部隊展開、運用能力及び実機との対空戦闘により対空戦闘能力の向上を図った。

演習に参加した第2射撃小隊長 平野頌3等陸尉は「高速で飛行する実機との対空戦闘が出来る貴重な機会を与えていただき、小隊の練度を向上させることが出来た。今回得られた教訓を部隊訓練でも活かせるよう練成していきたい。」と語り、本演習を振り返った。



11短SAM射撃統制装置による航空機の追跡



低空レーダ(P-18)で目標を搜索する隊員



ADDCS(対空戦闘指揮統制システム)内にて情報を収集する隊員

## 第14特殊武器防護隊

### 化学火工品処理技能者集合訓練を実施 安全・確実な知識と技術の修得

第14特殊武器防護隊(隊長 新美賢一3等陸佐)は、11月8日から11日までの間、善通寺駐屯地及び国分台演習場において、令和3年度化学火工品処理技能者集合訓練を実施した。

本訓練は、各部隊の要員に対して、火薬類取締法等の教育、化学火工品の取扱い要領及び不発品の処理要領等を訓練し、不発弾の処

理に必要な知識や技能を修得させ、訓練目的を達成した。



不発弾の処理



化学火工品の取扱いについて真剣に取り組む隊員

## 第14旅団司令部付隊

### 旅団統制演習場整備を実施 荒廃個所を整備し安全を確保

第14旅団司令部付隊(隊長 土井明3等陸佐)は、11月8日から10日までの間、令和3年度旅団統制演習場整備に伴い、国分台演習場高屋射場割当地域の除草及び枯れ木の除去を実施した。

本年度は、整備地域を6つの区画に区割り15名1組を基準とした2個組を編成して草刈機20台をもって整備した。区画、範囲及び要領を任務付与した。

2日目、前日から続く雨により、雨水を含んだ重い草を廃棄するため草捨場間を何度も何度も往復し苦勞したが、各組長の適切な指示・指導及び全ての隊員が整齊と行動したことにより、予定より1日早く整備を完了することができた。

隊は、本整備で得た問題点や課題について、じ後の整備を通して是正するとともに本整備の成果を活かし、演習場の機能維持、安全性の向上及び環境保全に寄与していく所存である。



除草作業風景



Before



After

高屋射場の風景



# らっぱ手のための ワンポイントレッスン♪ vol.9

## 第14音楽隊



前回に引き続き「音高を変えるコツ」として、今回は息の量について話したいと思います。

圧力がないと音色は弱々しくなり、遠くまで号音を届けることが困難になります。圧力のかけ方の考え方として、みぞおち辺りにエレベーターがあると想像し、これが上昇、下降する事によって圧力が変化します。低ソなどの低い音域は、高音に比べると圧力はそれほど必要ないため、エレベーターはみぞおち辺りにあるのが理想です。高ソになるとエレベーターは、みぞおちの少し上に移動する。ここで気が付いて欲しいのが、低ソと高ソではエレベーターが少ししか移動していないという事です。結論から言うと、高ソはそれ程高い音ではないという事です。皆さんの中で高い音というイメージだけで、体に力が入り無理矢理音を出そうと喉がしまっって息が入らない原因になっていないでしょうか。今後の練習では圧力のエレベーターを意識しながら、併せて高ソの「高い音」というイメージを払拭して欲しいと思います。

次に音楽隊の近況についてです。

11月27日、香川県宇多津町にある四国水族館において、イルカショーとのコラボイベントを実施しました。7月に実施したイベントに引き続き2回目となる今回は、前回とは雰囲気ガラリと変えて、マライアキャリーの「恋人たちのクリスマス」や、広瀬香美の「ゲレンデがとけるほど恋したい」など冬にピッタリな曲を演奏しました。また、イルカショー以外にも大水槽前では、クラリネット4重奏を実施しました。寒空の下ではありましたが、イルカの迫力ある演技や可愛らしい姿に元気を貰い、楽しく演奏する事が出来ました。地元香川県で、さらにはこんなにも素晴らしい場所で、広報の活動が出来た事を嬉しく思います。

## 人事往来



第14旅団司令部付隊長  
(第10師団司令部)  
3等陸佐 實野 智史

転入



第14旅団司令部付  
(第14旅団司令部付隊長)  
3等陸佐 土井 明

転出

令和3年12月1日付

## 隊員投稿

### 「単身赴任を経験して」

第14飛行隊整備班 航空機整備陸曹  
2等陸曹 森田 学

8月の異動で東部方面航空隊第4対戦車ヘリコプター隊(木更津)より転入してきました。家族構成は、妻、長女(10歳)、次女(8歳)、長男(5歳)の5人家族で、5年前に千葉に自宅を購入しました。子供たちの学校や生活環境を考え、単身赴任での異動となり、子供3人の育児をしながら、妻への負担が大きいため、出来る限り帰るよう心がけていますが、徳島から千葉までは、時間的にも金銭的にも毎週帰る距離ではないので、月に一度帰ることを目標に計画をしています。

今回の異動を通じて、今まで経験のないことばかりで毎日がとても充実しています。今後は自己のスキルアップと部隊の要望に応えられるよう日々努力していきたいと思えます。

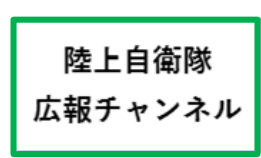


- |  |  |   |
|--|--|---|
| <p>第15即応機動連隊第3普通科中隊 陸士長 岡崎 誠賢</p> <p>第15即応機動連隊第3普通科中隊 陸士長 岡崎 彩季</p> <p>一般男子段外の部 優勝 秀佳</p> <p>第15即応機動連隊第3普通科中隊 2等陸曹 福岡 秀佳</p> <p>第15即応機動連隊第2普通科中隊 3等陸曹 井上 翔太</p> <p>第15即応機動連隊第3普通科中隊 3等陸曹 園南 寺俊幸</p> <p>第15即応機動連隊本部管理中隊 2等陸曹 川向 敦支</p> <p>第15即応機動連隊第3普通科中隊 3等陸曹 園南 寺俊幸</p> <p>第15即応機動連隊本部管理中隊 3等陸曹 園南 寺俊幸</p> <p>第15即応機動連隊第3普通科中隊 2等陸曹 川向 敦支</p> <p>第15即応機動連隊本部管理中隊 3等陸曹 園南 寺俊幸</p> <p>第15即応機動連隊第3普通科中隊 2等陸曹 川向 敦支</p> <p>第15即応機動連隊本部管理中隊 3等陸曹 園南 寺俊幸</p> <p>第15即応機動連隊第3普通科中隊 2等陸曹 川向 敦支</p> <p>第15即応機動連隊本部管理中隊 3等陸曹 園南 寺俊幸</p> | <p>第15即応機動連隊本部 准陸尉 東城 寛治 (監督兼選手)</p> <p>2等陸佐 中田 博之</p> <p>第15即応機動連隊本部管理中隊 2等陸曹 川俣 隆史</p> <p>3等陸曹 原田 匠</p> <p>第15即応機動連隊第1普通科中隊 1等陸曹 阿部 佳太</p> <p>1等陸曹 渋谷 健</p> <p>2等陸曹 金子 雅夫</p> <p>3等陸曹 城戸 裕紀</p> <p>3等陸曹 大西 義騎</p> <p>3等陸曹 高橋 一希</p> <p>3等陸曹 岡村 喜朗</p> <p>陸士長 岡村 喜朗</p> <p>陸士長 木村 有那</p> <p>第15回日本拳法愛媛県選手権大会 中四国交流推進大会</p> <p>一般男子有段の部 優勝</p> <p>第15即応機動連隊第3普通科中隊 2等陸曹 川向 敦支</p> <p>第15即応機動連隊本部管理中隊 3等陸曹 園南 寺俊幸</p> <p>第15即応機動連隊第3普通科中隊 2等陸曹 川向 敦支</p> <p>第15即応機動連隊本部管理中隊 3等陸曹 園南 寺俊幸</p> <p>第15即応機動連隊第3普通科中隊 2等陸曹 川向 敦支</p> <p>第15即応機動連隊本部管理中隊 3等陸曹 園南 寺俊幸</p> <p>第15即応機動連隊第3普通科中隊 2等陸曹 川向 敦支</p> <p>第15即応機動連隊本部管理中隊 3等陸曹 園南 寺俊幸</p> | <p>部内</p> <p>第96期幹部弾薬(U)課程 教育部長賞</p> <p>第14後方支援隊即応機動直接支援中隊 2等陸尉 相良 謙</p> <p>部外</p> <p>令和3年度市長杯争奪戦軟式野球大会 (1普中ジャイアンツ)</p> <p>優勝</p> |
|--|--|---|



陸上自衛隊 第14旅団

逐次発信中!



陸上自衛隊広報チャンネル (YouTube) に 「自衛隊式感染症予防」 を掲載中!